

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員の意見や思いが直ぐ実践できる	見える場所に付箋を貼り、情報を共有する。	・付箋に気づきを記入し、黒板に貼り、情報共有が直ぐできるように取り組む。直ぐできることは、その場で実行する。	12ヶ月
2	23	心身の変化 ・より良い生活の保持	個々にあった適切なケアを行う。	・利用者の心身の状態を観察し、気づきを多くする ・日常生活において寝たきりにならない重度化を 予防できるようケアをする。 ・個々にあった食事のペースや雰囲気を楽しむ。 ・個々の残存能力により、それぞれが、楽しんでいただけるレクリエーションを行う。 ・日常の取り組みとして、散歩や買い物ができるよう体調管理に十分留意する。	12ヶ月
3	48	地域との交流	生きがいや喜びのある支援	・ホームの隣に「げすとはうす」ができ、利用者様の御家族、御親戚、お友達がゆっくりとお茶、おやつお弁当を食べて頂ける機会が増えました。 ・「げすとはうす」でイベントを開き 利用者様、家族様、地域の方がと一緒に楽しんで頂く。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。